



# 目標は2年後に 「世界記録」に挑戦!

CLOSE  
UP  
大村人

バハマでの世界大会で日本記録を樹立し喜ぶ木下さん(本人提供)

昨年12月、カリブ海の島国・バハマで行われたフリーダイビングの世界大会で、見事日本記録を2種目で樹立した本市在住の木下紗由里さん。素潜りの深さを競う海のフリーダイビング競技を始めたのが2013年の10月。1年余りの競技歴で大記録を達成した逸材です。

木下さんは、「父が海が好きで、子どもの頃によく連れて行ってもらいました。大村湾が私の故郷の海です。」と、水に親しんで育ってきました。フリーダイビングを始めたきっかけは、「面白そうと思い講習を受け、初めて出場した国内大会で世界大会の代表に選考されて、のめり込みました。」と木下さん。今回の世界大会では、自力で潜る種目で58メートル、ロープを伝って潜る種目で68メートルを記録し、いずれも日本記録を塗り替えました。

記録を樹立したバハマの海の印象をお伺いすると、「競技した場所は、ブルーホールという深さ200メートルほどの穴。水深20メートルを超えると光が届かず真っ暗ですが、プランクトンがキラキラ光っていて、まるで宇宙にいるような感覚になりました。」と振り返ります。

「恐怖や緊張感はありませんが、自分の体と対話する貴重な時間。どこまでいけるかワクワクする気持ちの方が強いですね。」と、競技の魅力を語ります。シーズン中は沖縄の海を拠点に練習を重ねている木下さんは、「目標は2年後に世界記録を樹立すること。」と、照準はすでに定まっています。これからの活躍が期待されます。

フリーダイビング日本記録保持者

## 木下 紗由里さん



### Profile

きのした・さゆり  
1988年12月31日生まれ、ウォーターメイツスイムクラブ長崎勤務。3歳からスイミングを始め高校生まで競泳選手として活躍。フリーダイビング競技歴は1年余り。主に沖縄の海でトレーニングを重ね、オフシーズンにはスイミングスクールのコーチを務める。市内在住。26歳。

クローズ  
アップ

## 大村人

vol.5

このコーナーは、ふるさと大村を思いながら、市内外で活躍する「大村人」を紹介します。